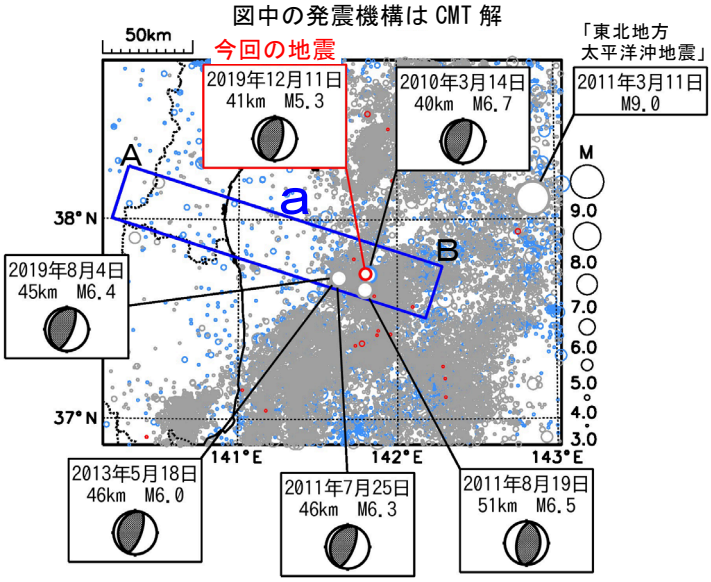
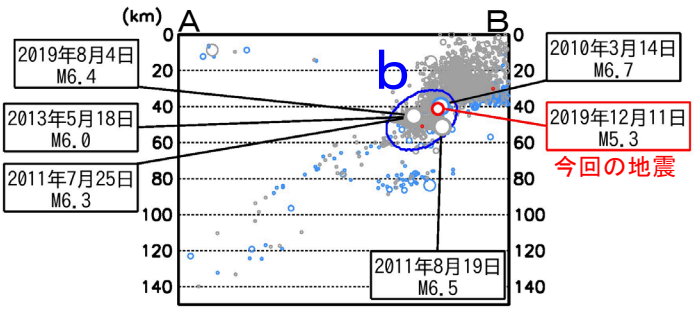
12 月 11 日　福島県沖の地震

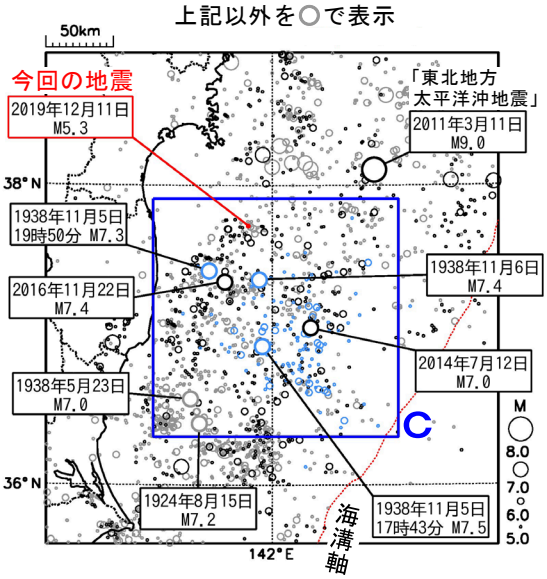
震央分布図
（1997年10月１日～2019年12月31日、
深さ０～150km、M≧3.0）
2011年３月10日以前の地震を○、
2011年３月11日以降の地震を○、
2019年12月１日以降の地震を○で表示
図中の発震機構は CMT 解



領域ａ内の断面図（Ａ－Ｂ投影）



震央分布図
（1922年１月１日～2019年12月31日、
深さ０～150km、M≧5.0）
1938 年 11 月５日～11 月 30 日の地震を○、
2011 年３月 11 日以降の地震を○、
2019 年 12 月１日以降の地震を○、
上記以外を○で表示

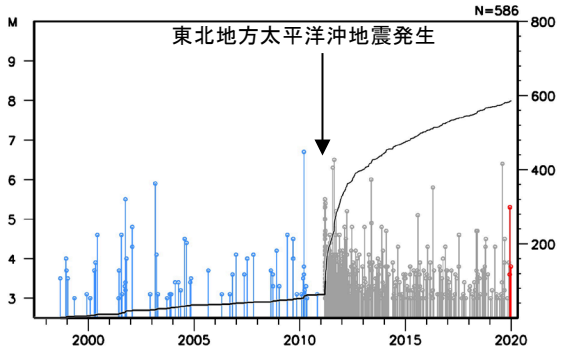
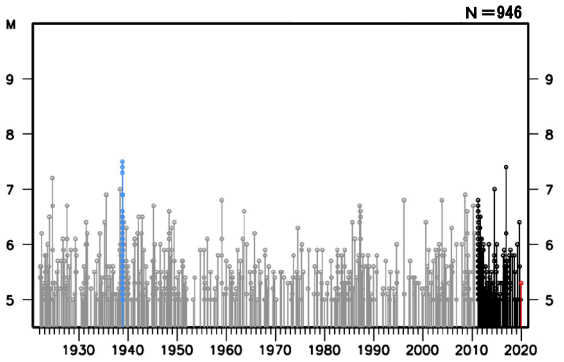


2019年12月11日18時39分に福島県沖の深さ41kmでM5.3の地震（最大震度３）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に圧力軸をもつ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域ｂ）ではM5.0を超える地震が時々発生しており、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」と記す）の発生以降は地震活動が活発になっている。また、今回の地震とほぼ同じ場所で2010年３月14日17時08分にM6.7の地震（最大震度５弱）が発生し、軽傷者１人、住家一部破損２棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域ｃ）では、1938年11月５日17時43分にM7.5の地震（最大震度５）が発生した。この地震により、宮城県花淵で113cm（全振幅）の津波を観測した。この地震の後、福島県沖周辺で地震活動が活発となり、同年11月30日までにM6.0以上の地震が26回発生し、このうち７回は津波を観測した。これらの地震により、死者１人、負傷者９人、住家全壊４棟、半壊29棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

領域ｂ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図



領域ｃ内のＭ－Ｔ図